

南アフリカ
ポップカルチャーand
ライフスタイルミッション派遣
「Super Japan in Johannesburg」

募集案内

2026年6月

ジェトロ・ヨハネスブルク事務所

1. 実施概要

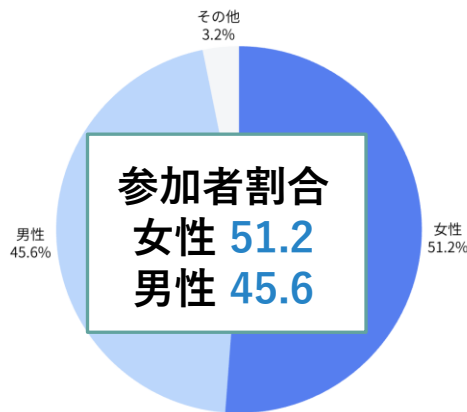
名称	南アフリカ・ポップカルチャーandライフスタイルミッション派遣 「Super Japan in Johannesburg」
時期	2026年9月23日（水）～27日（日） ※9月22日（火）までに各自ヨハネスブルクに到着、28日（月）以降にヨハネスブルクを出発いただく想定スケジュールです
視察先	南アフリカ・ヨハネスブルク
目的	日本のソフトパワーの原動力である熱狂的なファンコミュニティの消費活動やニーズを可視化し、日本企業等によるビジネス展開の方策を探るきっかけを提供すること
対象	日本のコンテンツ産業およびライフスタイル産業において、南アフリカの若年層市場の取り込みに関心があり、南ア企業・消費者向けに展示・紹介が可能な商品・プロダクトを持つ企業・団体
参加費	無料 ※航空券・ホテル宿泊代等は各自手配 (本募集案内および募集ページ内「参加費」の項目を必ずご確認ください)
言語	英語
形式	現地集合・現地解散型
主なプログラム内容	<ul style="list-style-type: none">・ Comic Con Africaでのデモデーの実施・ 南アフリカ企業の訪問・ 南アフリカビジネス関係者等とのネットワーキング
主な参加特典（ジェットロ対応）	<ul style="list-style-type: none">・ 日本語によるオリエンテーション・ ジェトロ職員による全行程の日程調整・同行・ 行程中の交通手段手配・ 渡航・安全情報の提供

2. Comic Con Africa概要

Comic Con Africaウェブサイト <https://comicconafrika.co.za/cca-home/>

- ・アフリカ大陸最大のポップカルチャーイベントで2018年初開催。アニメ、マンガ、ゲーム、映画、コスプレ、音楽など様々なジャンルを網羅。毎年約7万人を集客。
- ・ジェットロでは2023年より開催パートナーとしてComic Con Africaと連携し、主にIP・コンテンツ分野におけるビジネスマッチングを行ってきましたが、今年度初めてポップカルチャー分野を対象を広げ「Super Japan」をヨハネスブルクで開催することとなりました。広報展スペース、イベントステージ（希望者のみ）を活用した貴社プロダクトのPRが可能です。

2025年Comic Con Africaデータ集（Comic Con Africa作成資料をもとにジェットロが作成）



参加者割合
女性 51.2
男性 45.6



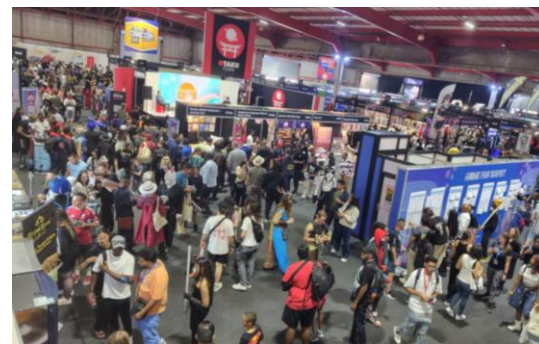
参加者の**40.3%**が
25歳-34歳

285人のメディア関係者が参加
45% 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌など
55% コンテンツクリエイター、ブロガー、
SNS発信者など





58%の人が
1日で5000円-2万円を使用

SNS・オンライン上での
総インプレッション数
2億7,000万回以上



3. 視察ミッション行程 (想定)

9月22日 (火)	9月23日 (水)	9月24日 (木)	9月25日 (金)	9月26日 (土)	9月27日 (日)	9月28日 (月)
 ヨハネスブルク着 (各自)	<ul style="list-style-type: none"> ・市場視察 ・Comic Con Africa会場見学 およびブースセットアップ ・南アビジネス関係者とのネットワーキング 	Super Japan デモデー1日目	Super Japan デモデー2日目	Super Japan デモデー3日目	Super Japan デモデー4日目	 ヨハネスブルク発 (各自)
【ジェット口手配・負担】						
	・移動車両 (ジェット口指定発着起点⇔移動先)	・移動車両 (ジェット口指定発着起点⇔移動先)	・移動車両 (ジェット口指定発着起点⇔移動先)	・移動車両 (ジェット口指定発着起点⇔移動先)	・移動車両 (ジェット口指定発着起点⇔移動先)	
【参加者の各自手配・負担】						
<ul style="list-style-type: none"> ・渡航雑費 ・飲食代 ・移動車両 (空港→宿泊先) ・宿泊代 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代 ・宿泊代 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代 ・宿泊代 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代 ・宿泊代 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代 ・宿泊代 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代 ・宿泊代 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航雑費 ・飲食代 ・移動車両 (宿泊先→空港)

4. 宿泊先ホテル（参考）

安全性の確保されたヨハネスブルク市内の主要ホテルは以下の通りです。また、ジェットロ手配車両の発着起点（集合場所）は、「[Garden Court Sandton City](#)」「[Southern Sun Katherine Street Sandton](#)」の予定です。発着起点以外のホテルに宿泊する場合は、「[現地の安全情報](#)」をご一読のうえ、ホテル⇄集合場所間の移動は参加者様ご自身で手配ください。

1. Garden Court Sandton City

<https://www.southernsun.com/garden-court-sandton-city>

2. Southern Sun Katherine Street Sandton

<https://www.southernsun.com/southern-sun-katherine-street-sandton>

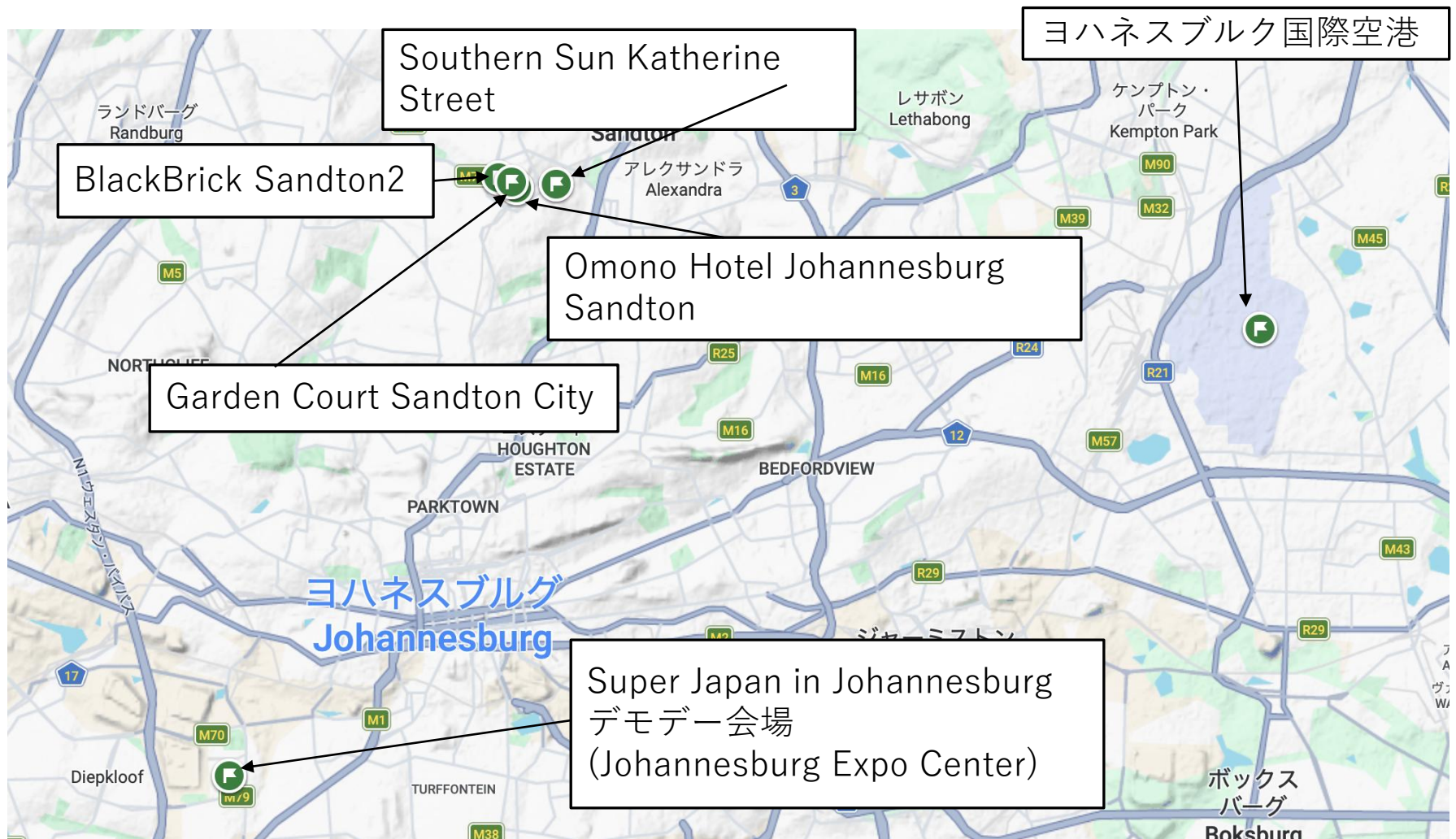
3. Black Brick Sandton 2

<https://blackbrickhotels.com/stay-at-blackbrick-johannesburg/blackbrick-sandton-2/>

4. Onomo Hotel Johannesburg Sandton

<https://www.onomohotels.com/en/hotel/onomo-hotel-johannesburg-sandton/>

5. ミッション行程マップ



6. 現地の安全情報（1）

■通貨・支払い

- ・通貨は南アフリカ・ランド（ZAR）。1ランド=約9.8円（2026年6月）。
- ・チップ文化があり、特に食事の支払い時には、自ら計算して10%のチップを追加支払うことが一般的です。ホテルのポーターや部屋の掃除に関しては、目安額は10～20ランドです（個人判断で構いません）。キャッシュレス化が進んでいるため、クレジットカードはショッピングモール、ホテル、レストラン等で広く利用可能です（VISA、Masterが一般的）。割り勘支払いの場合、一人ずつでカード決済することも可能です。チップを支払うといったことがない限り、南アランドへの換金は基本的には不要です。

■天候

- ・南半球のため、日本と季節は逆であり、9月下旬は最高気温が25℃近くになる日もあります。ただし、一日の中でも気温変化があるため、温度調整が可能な衣類の持参を推奨します。またヨハネスブルクは高地（1,300～1,700m）にあり、日照時間も長く、紫外線が強いので日焼けにはご注意ください。また乾燥が著しい地域であるため目薬や保湿クリーム等の持参もおすすめします。また土埃や南アに自生するイネ科植物により花粉症や喘息などのアレルギー症状が現れるケースもありますので、不安な方は常備薬の持参もご検討ください。

■移動手段

- ・移動は原則車（運転手付き借上車両またはUber）をご利用ください。Uberも夜間は単独利用は可能な限り避けてください。なお、従前からのタクシーもありますが、ご利用はお控えください（空港でタクシーの案内を行っている人がいますが、ついていけないようにしてください）。乗車中は施錠されているか、窓が閉まっているかを常に確認するようにしてください。
- ・空港⇄市内（Sandton、事務所・ホテルの最寄り駅）については上記手段に加え、[ハウトレイン \(Gautrain\)](#) の利用も可能です（クレジットカードによるタッチ決済が可能）。ただしSandton駅から宿泊先や訪問先へは車での移動が必要です。

■プラグと電圧

- ・南アフリカのプラグタイプは「B3L」と呼ばれるもので、世界的に見てもあまり一般的ではありませんが、ホテル等ではヨーロッパでも広く使われているCタイプが利用可能です。電圧は230Vです。

7. 現地の安全情報 (2)

■ヨハネスブルク滞在中は、次のような防犯対策にご留意ください。

- ・ **パスポートを常時携帯する**（法律で外国人はパスポートの携帯が義務づけられており、現場の警察官や入国管理局職員は、外国人が合法的に滞在していることが証明されるまで、法令により身柄を拘束することができるかとされています）。また盗難等不測の事態に備え、パスポートのコピーを別途携行しておくようにしておく。
- ・ 危険だと言われている場所には絶対に近づかない。
- ・ 夜間の外出は必要最小限に止める。
- ・ 移動は原則として車を利用する。乗車中も施錠されているか、窓が閉まっているかを常に確認する。
- ・ 徒歩移動が可能な地域においても、昼夜を問わず、一人歩きは絶対にしない。人通りの少ない道、暗がりは通らない。
- ・ 外出時は、高級ブランド品、派手（華美）な服装等人目を引く服飾を用いない。
- ・ スマートフォンを見える形で携行しない、飲食店のテーブルの上に置かない、公共の場所で使用しない。どうしても使用する必要がある場合は、その場に依じて狙われにくい場所に移動し、周囲の状況に警戒しつつ使用する。
- ・ 貴重品や多額の現金を持ち歩かない。
- ・ ハンドバックは使用しない。ショルダーバックをたすき掛けにし、体の前で所持する。車道側に持たない。
- ・ 物売り、たかり、話しかけてくる見ず知らずの者には特に注意する。
- ・ 自動車の車内の見える場所に荷物を置かず、トランクルームに荷物を入れる。出発点で荷物をトランクルームに収納しておく。外出先で荷物を収納する場合は、周囲を警戒しつつ目立たないように入れる。

8. 現地の安全情報 (3)

■万が一、盗難に遭ってしまったら・・・

- ・無抵抗を貫く。
- ・（財布の盗難にあった場合）クレジットカードを差し止める。
- ・（パスポートなど再発行を必要とするものの盗難にあった場合）最寄りの警察署でAffidavit（宣誓供述書）を取得の上で、在南アフリカ共和国日本国大使館（在プレトリア）から速やかに新しいパスポートの発給を受ける。

■紛失・盗難等したパスポートを失効させるために必要な書類および手続き

在南アフリカ日本国大使館ウェブサイトをご参照ください。

https://www.za.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consular_passport.html

■現地安全情報の確認と「たびレジ」登録（必須）

在南アフリカ日本国大使館「南アフリカ滞在安全の手引き」および外務省「海外安全ホームページ」にて事前情報を収集願います。また、渡航先の安全情報がメールで届くサービス、「たびレジ」へ必ずご登録願います。外務省の「たびレジ」は、テロ事件や大規模な災害等の緊急事態発生時に、登録された電話番号や宿泊先をもとに安否確認を行い、必要な支援が行われます。

- ・在南アフリカ日本国大使館「南アフリカ滞在安全の手引き」

<https://www.za.emb-japan.go.jp/files/100513845.pdf>

- ・外務省「海外安全ホームページ」

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_122.html#ad-image-0

- ・外務省「たびレジ」 <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

9. 入国・税関

■入国（査証）

- ・日本のパスポート所持者は、次の条件を満たし、かつ90日以内の観光、短期商用、知人訪問などを目的とする滞在に限り、入国査証の取得は不要です。
 - パスポートに未使用の査証ページが2ページ以上あること
 - パスポートの有効期間が滞在予定期間に加えて30日以上あること
 - 復路航空券を所持していること
- ・入国にあたって義務づけられた予防接種はありませんが、南アフリカ保健省が指定する黄熱汚染国から直接または汚染国に12時間以上滞在して（経由して）入国する場合には、イエローカード（黄熱予防接種証明書）の提示が必要です。

■税関

- ・入国時、税関の前で無作為に止められ荷物を検査される場合があります。
 - ①係員が正規の書類を提示し、クレジットカードで支払いを求めた場合は正規の手続きを行ってください。
 - ②係員が書類を提示せず、現金の支払いを求めた場合は不正な賄賂請求の可能性が高いため、正規の書類を提示するよう主張してください。

（ご参考）南アフリカ税関

<https://www.sars.gov.za/customs-and-excise/>

10. 緊急連絡先（医療機関）

■病院（ヨハネスブルク市内）

(1) Netcare Milpark Hospital

住所：9 Guild Road, Parktown west, Johannesburg

電話：+27-11-480-5600（代表）、+27-11-480-5910（救急部,Casualty Department）

概要：8床の熱傷ベットを含む154床の各種ICUおよびハイケア病床を持ち、13の手術室とカテーテル治療室3室を持つ456床の高度先進病院。外傷、火傷、心臓病などの重症疾患に重点を置き、レベル1外傷救急センターを持つ南アフリカでは最も信頼できるトップレベルの病院のひとつです。緊急移送会社が搬送先によく利用します。

<https://www.netcare.co.za/netcare-facilities/netcare-milpark-hospital>

(2) Mediclinic Morningside Hospital

住所：Cnr Rivonia & Hill Road, Morningside, Johannesburg (Sandton)

電話：+27-11-282-5000（代表）、+27-11-282-5126/7（救急部,Casualty Department）

概要：サントン地域の邦人・外国人が最も利用する各科とも充実した病院。急性重症治療には不向き

<https://www.mediclinic.co.za/en/morningside/home.html>

(3) Netcare Sunninghill Hospital

住所：Cnr Nanyuki & Witkoppen Road, Sunninghill, Johannesburg

電話：+27-11-806-1500（代表）、+27-11-806-1652/3（救急部,Casualty Department）

概要：87ICU、9床のレベル2外傷救急センターを持つ279床の私立病院。心臓、小児科に重点を置いています。緊急移送会社が搬送先によく利用します。

<https://www.netcare.co.za/netcare-facilities/netcare-sunninghill-hospital>

1 1. 緊急連絡先（公的機関等）

■ ジェトロ・ヨハネスブルク事務所（事務局）

+27-11-784-6084

■ 警察・救急

・ 10111（警察）

・ 112（事件、事故、救急等の緊急通報に対応）

・ 10177（公立の救急、消防）

※医療の救急依頼は、私立の救急通報に通報するケースが多く、また救急車の利用は公立私立ともに有料です

■ 在南アフリカ日本国大使館（在プレトリア）

+27-12-452-1500

12. 注意事項①

- ・本ミッションは、現地集合・現地解散型です。集合場所までの往復移動手段（航空券・タクシー等）の手配及び費用は参加者様のご負担になります。その他の費用詳細については、本募集案内および募集ページ内「参加費」の項目を改めてご確認ください。
- ・英語での実施です。通訳のご用意はありません。
- ・参加希望者が定員を上回る場合、参加企業の有する製品・サービスを基に、現地協力機関との相談の上選考させて頂くことがあります。また、自社の南アフリカでのビジネス展開を目的とした参加に限らせていただきます。お申込み頂いた内容が本事業の主旨にそぐわないと考えられる場合は、内容確認をしたうえでご参加をお断りする場合があります。
- ・Comic Con Africaでのイベントステージについて、来場者が多く見込まれるのは2日目と3日目にあたる9月25日（金）・26日（土）ですが、各日のイベントステージの枠数に限りがあるため、参加企業の有する製品・サービスを基に、現地協力機関との相談の上24日（木）または27日（日）に割り当てさせていただく場合があります。
- ・訪問先・視察先等及び各日のスケジュールは現時点での予定であり、変更の可能性がございます。タイムスケジュール詳細は、確定次第、ミッション参加者に送付します。
- ・南アフリカでは日本と比較して医療体制が不十分のため、状況によっては先進国などへの移送が必要な場合もあり得ます。不測の事態に備え、海外旅行傷害保険への加入をお勧めいたします。

13. 注意事項②

- ・本ミッションの視察先や訪問先において、参加者個人で行動されることや一部行程のみに参加されることは原則として認められません。主催者側による引率の指示に従って行動をお願いいたします。
- ・視察先企業との競合上の理由により、一部の参加者に対して特定の視察先への訪問が許可されない場合がございます。
- ・申し込みフォームにご記入いただく情報のうち、「参加者ご氏名」、「貴社名」、「ご所属部署名・役職」及び「貴社事業概要」については、ミッション催行時の交流用に参加者リストとして交流先に提供いたしますことを予めご了承ください。
- ・ミッション期間中、メディアの取材が入る可能性がございます。また、「貴社名」についてはミッション参加企業リストとしてプレスリリース等で公開いたしますことを予めご了承ください。
- ・ジェットロでは、ミッション期間中に発生した参加者に係る携行品盗難・携行品損害、疾病治療費用等につき、一切負担できかねます。
- ・ジェットロからのご参加確認及び催行決定の通知を受け取ったのちに、航空券等の手配を開始されることをお勧めいたします。
- ・ミッション終了後、ジェットロが成果把握等を目的として実施するアンケートに必ずご協力ください。
- ・その他、本ミッションに関する具体的な質問事項がある場合には、参加申し込みフォームへご入力ください。

14. 免責事項

・本ミッションが中止もしくは延期となった場合、申込者の責によらない事由により参加できなくなった場合においても、一切の経費・損害（予約されたホテル、航空券代等のキャンセル料を含みますが、これに限られません。）をジェットロが補填することはいたしかねますので、予めご了承ください。

・本ミッション参加中に体調不良となった場合、ジェットロは最大限のサポートはさせていただきますが、現地での感染・発症リスク、現地での治療・隔離措置等に伴う滞在期間延長またはその他の不測の事態に伴い発生する費用・損失等に関しては、一切補償できません。

・ジェットロでは、旅行中に発生する如何なる事故にも責任を負いかねます。各自で海外旅行保険に加入されることをお勧めします。また、持病がある場合には英文のカルテをご持参いただくほか、常用薬がある場合は携行いただくようお願いします。

15. 合意事項

(イベントへの参加)
・ジェトロの誠実な参加に基づき、イベントに参加するジェトロの担当事務局の指示に従い、誠実にイベントの企画内容や日程等に関する事項を急変等が生じる場合も、事業の実施を阻害することなく、他の同行者、訪問先、及び関係者に対する適正なマナーに配慮のうえ参加します。

(ジェトロ事務局からの指示や注意喚起)
ジェトロ事務局が相応の指示や注意喚起を行う場合、即座にこれを改善の上、取りやめさせていただきます。

(秘密の保持)
・イベントへの参加に起因する関係者、訪問先、書面、電磁的方法、口頭その他、方法の如何を問わず、開示され、又は開示者が秘密と見做す情報、先ずはジェトロに関する一切の製品、技術、経営及びジェトロ又は第三者に開示し得ません。撮影した写真・動画を許可なくインターネットに開示又はウェブサイトやSNS上に掲載してはなりません。

(禁止行為)
以下各号に記載の行為を他参加者、訪問先およびジェトロ事務局に対して行いません。
・脅迫、暴行、業務上の過度の私的干渉、その他、精神的な攻撃
・暴行、業務上の過度の私的干渉、その他、身体的な攻撃
・業務上の過度の私的干渉、その他、迷惑行為
・業務上の過度の私的干渉、その他、迷惑行為
・業務上の過度の私的干渉、その他、迷惑行為

(違反の場合の措置)
・ジェトロの場合同業の措置
・ジェトロの場合同業の措置
・ジェトロの場合同業の措置